

令和3年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	2	議席 番号	4	氏名	辻 村 岳 瑠 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	子育てしながら働きやすい環境づくりについて			<p>子育てしやすい環境づくりには、公園等の施設の整備以外にも、女性が働きやすい環境づくりを、市が具体的に実践できるかが重要であると考え。これまで以上に、さらにより良い子育て環境を整えるため以下伺う。</p> <p>(1) 住民基本台帳の世帯数調査を見ると、富士宮市では核家族化が著しく進んでいることが推察できる。今後の見通しも含め、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 2015年国勢調査の産業分類別の就業者数によると、富士宮市の第2次産業の就業者は、全国平均を大きく上回っている。このことから富士宮市には企業や工場が多く存在し、市内には安定して働ける場所は多くあると考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 2020年住民基本台帳に基づく人口ピラミッドによると、出産や子育て世代の中心となる20歳から39歳の女性の人口は、全国平均を下回る。市ではこの状況をどのように受け止め、改善する具体的施策をどのように実施しているか伺う。</p> <p>(4) 市内放課後児童クラブに携わる指導員の後継者不足が心配される。指導員の平均年齢と後継者問題についての市の認識を伺う。</p> <p>(5) 安心して子どもを託し、女性が働きやすい環境を整えるためには、放課後児童クラブの運営に、市が積極的に関わり、指導員の賃金や保険などの待遇面を改善し、指導員後継者として若者世代が働く場所として興味を持てる環境にすべきと考えるがいかがか。</p>		市 長 関係部長
2	コロナ禍で医療提供体制を維持するために			<p>長期化するコロナ禍での医療提供体制は、市立病院の感染症対策病棟が担っている。医療提供体制維持について以下伺う。</p> <p>(1) 市立病院の退職者状況（退職希望者含む）は、コロナ前と比べ、どうなっているのか。</p> <p>(2) 感染症対策病棟で勤務する看護師は、市立病院に勤務する看護師全体の何割か。また、感染症対策病棟の看護師の勤務体制（日勤、夜勤の職員数、休暇の取得状況）について伺う。</p> <p>(3) 感染症対策病棟に勤務する看護師のメンタルヘルスチェックの結果に対する市立病院の対応について伺う。</p> <p>(4) 感染症対策病棟は隔離されてはいるが、ウイルスは目に見えないものであり、また、無症状の感染者がいることから、退院する全ての患者に対しPCR検査を実施する必要があると考えるがいかがか。</p> <p>(5) 長期化するコロナ禍で、感染症対策病棟への勤務を、一部の職員のみが続けることが果たしてよいものか。富士中央病院の集団感染により、感染症対策病棟の業務量は大きく増加したと考えられる。 感染症対策病棟の勤務は、経験豊富な優れた看護師にしかできない仕事だとしても、長期間の勤務ストレスや、家族への負担を考えると、ローテーションで感染症対策病棟を看護することを提案する。この提案に対して市立病院の考えを伺う。</p>		市 長 関係部長